

平成 29 年度第 4 回霧島市子ども・子育て会議 会議要旨

開催日時	平成 30 年 1 月 27 日(土) 午後 2 時から午後 4 時
開催場所	霧島市こどもセンター 遊戯室
出席委員	鬼塚会長、松崎委員、加来委員、谷口委員、基委員、川畑委員、中野委員、松元委員、外園委員、平原委員、鮫島委員
事務局	越口保健福祉部長、岡元子育て支援課長、鮫島子ども家庭支援室長、市来子ども・子育てグループ長、富田保育・幼稚園グループ長、島木すこやか保健センター副所長、井上主査、出口主査
公開・一部非公開又は非公開の別	公開
傍聴人数	なし
協議等内容	
<p>(1)平成 28 年度霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</p> <p>(2)子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直し事業について</p> <p>(3)委員提案議題について</p> <p>(4)その他</p>	
協議における主な意見等の概要及び事務局からの回答	
<p>(1)平成 28 年度霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について、事務局より配布資料(資料1)に基づき説明</p> <p>①進捗状況が「C」となっている事業については、計画の目標設定に問題があったのか。 ⇒(資料1P3 ①について)特定不妊治療費助成について、市は県内でも先進的な取り組みを行っているが、近年国県からの補助も手厚くなってきており、助成件数そのものは伸びているが助成金額は減少しているもの。 (資料1P5 ②について)目標設定値は予算上受入可能な最大値としており、乖離はやむを得ないもの。(資料1P6 ③について)過年度において相談件数が 2,000 件超となったこともあり、想定値を 2,000 件としている。</p> <p>②(資料1P1 ①について)放課後児童健全育成事業の意見・評価欄にある要望とはどういったものか。 ⇒運営補助について、人材確保のための補助要望や、待機児童が発生しているクラブや老朽化した施設等への施設整備への要望がある。</p> <p>③国の処遇改善施策に対し、市はどこまで対応するのか。</p>	

⇒市の負担については一般財源で対応する必要があるが、基本的な運営補助金が年々増加しており、処遇改善や施設整備の要望に追いつかない状況である。

④(資料1P2 ④について)子ども食堂についてどのように考えるか。

⇒子ども食堂は現在市内2か所で実施中。地域ボランティア・社福法人等が中心となる活動を期待している。今後の在り方については、各団体等と協議を重ね検討したい。

⑤(資料1P3 ①について)妊娠届出の目標値が100%でない理由は。

⇒31年度末目標値は100%としているが、出産後の届出等あり実現は難しいところ。関係機関との連携を密にし、しっかり支援していきたい。

⑥(資料1P4 ③について)子ども医療費助成事業等についての要望とはどのようなものか。

⇒子ども医療費助成については対象年齢拡大や現物給付への要望があるが、今年10月から未就学児非課税世帯について現物給付を導入する予定。

⑦(資料1P5 ①について)発達相談事業について、相談の多い事例はどのようなものか。

⇒児童・生徒については学習に関する相談、幼児については言葉の遅れや多動についての相談が多い。

⑧(資料1P5 ②について)経済的な支援の充実について、具体的な要望とは何か。

⇒ひとり親家庭医療費助成については、子ども医療費助成枠での現物給付の予定あり。また、自動償還払いが実現できていないため、その実現への要望がある。

現物給付については、未就学児への国保調整交付金の減額措置が廃止されることから、現在県が主体となって導入作業中であるが、医療費増や医療現場の疲弊へつながる側面もあり、慎重な対応が望まれるもの。

⑨(資料1P3 ②について)障がい者相談支援事業について、今までこの会議で取り上げられることが少なかったが、この支援事業計画にも取り上げられている事業でもあるので、今後資料提供等お願いしたい。

⇒「障がい児福祉計画」を新たに策定し、平成30年度から実行すべく現在準備中であり、今後この会議等とも連携させていく予定。

⑩子どもに関する国の施策が大きく急激に変わってきている。この事業計画も当初のスタンスから変えていく必要があるのではないか。

⑪放課後児童健全育成事業においても、待機児童はやはりたくさんいる状態であり、施設確保が課題である。障がい児受入にも職員が足りない状態。

再来年度からの保育無償化を迎えれば、現在の施設では希望者全員の収容は不可能と予想される。認可外施設の今後の動向等も踏まえ、行政はどう考えているか。

⇒計画では小規模保育施設で賅っていくことを考えていたが、現実には伸びていない状況。将来的な人口状況を踏まえ施設整備を行わなければならない。認定子ども園化による定

員の融通や定員増のお願い、小規模を中心とした施設の新設を進めていきたい。保育士・支援員の確保も重要な問題と認識している。

(2) 子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直し事業について、事務局より配布資料(資料2)に基づき説明

①(資料2P3 ⑤について)見込み人数増の理由は何か。(資料2P4 ⑥について)事業概要について、相談と親子遊びの催しとどちらが多いか。

⇒⑤については、資料2P1①にもあるように、認定子ども園化に伴う1号認定児の増加により実績値が増加したものの。⑥については、件数の集計は持ち合わせていないが、親子遊びの件数が多いと感じている。転入転出が多いという当市の事情があり、まずは親子での遊びの場を提供し、その中で相談等へつながっていくケースが多いという認識。

②(資料2P6 ⑩について)見直し後人数の基準は何か。

⇒本年度の母子健康手帳の発行実績に基づき算出している。健診対象には前年度中に妊娠した方も含まれるため、年度ごとの出生数とは異なるもの。

③出生届の提出をされない方、市が把握していない児童がいるのか。

⇒戸籍上の手続き問題により届出に至らない子も全国的にはいるようだが、本市においては全ての親子を把握していると認識。

④(資料2P2 ②について)確保の内容において約500人、7箇所の増となっているが、この見方を教えてほしい。

⇒資料1は補助対象となっているクラブのみの数字であり、資料2中の数字は自主運営クラブを含むもの。また、箇所数はいわゆる事業所数であるが、実際には複数の支援の単位を運営する事業所があり、箇所数と単位数は一致しない。

(3) 委員提案議題について、提案いただいた委員より配布資料に基づき説明

⇒県教委において、昨年度子どもの貧困に関する調査を実施したと聞いている。同調査の詳細な内容を踏まえ、市独自調査の必要性等を含め検討したい。

(山口委員提案の議題については、本人欠席のため次回以降へ持ち越し)

(4) その他

①佐々木保育園の廃園⇒児童クラブへの要望についての報告

②公立保育園の民営化に係る進捗状況についての報告

<2時間00分>

配布資料

- ① 委員提案議題(霧島市内における「子供の貧困に関する実態調査を求める」)

…資料4

事前配布資料

- ① 平成28年度霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について …資料1
② 子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直し事業について …資料2
③ 委員提案議題について …資料3